

今月のおすすめ本

『これだけで勝てるオセロ』



オセロの勝ち方を30の鉄則として紹介。全ての鉄則は短いフレーズで表されていて、そのフレーズを参考に打つだけで初心者同士の戦いならまず負けなし！きちんとマスターすれば、上級者、さらには有段者になることも十分可能。

『シェイクスピア物語 上下』



シェイクスピアの書いた戯曲の物語を、少年少女にわかりやすく書き直したものです。『オセロ』は下巻に入っています。古い作品なので、少し現代に合わない文章表現もありますが、ご了承ください。

『神のロジック 次は誰の番ですか？』



人里離れた全寮制の“学校”で生徒は厳しい制約を受けながら推理ゲームなど風変りな課題に挑んでいた。やがて次々と殺人事件が起きて…。犯人は誰なのか？生徒たちは何のために世界中から集められたのか？

あけましておめでとうございます。
今年も読書を楽しみましょう！

修学館だよ！



芦原中学校

2023.1.10



お知らせ

- ★3年生限定プレゼントのお守りをまだ受け取ってない人は、修学館まで取りに来てください。
- ★「季節のコーナー」には今年の干支、うさぎに関する本を集めてあります。
- ★年の初めの運試し！おみくじしおりを引きに来てください。こちらは本を借りなくても引けますよ！
- ★「福 BOOK」を借りて、いろいろなテーマにそった分類の違う本を読みましょう。おまけ入りです。

限定 25
セット！

知っ得コーナー

オセロについて

オセロは、2人のプレイヤーが交互に盤面へコマを打ちながら、相手のコマを自分のコマではさむことによって自分のコマに換えていき、最終的にコマの数を競うボードゲームです。この楽しいゲームを考えたのが、日本人の少年だという事、知っていましたか？戦後まもない頃、長谷川五郎さんは碁石をもとに10分間の休み時間で遊べるゲームを思いつき、学校内で人気になったそうです。そして大人になった長谷川さんは、少年の頃に生み出した遊びを思い出し、牛乳びんのふたでコマの試作品を作って玩具メーカーに持ち込みました。その企画が通って現在のような『オセロ』（昭和48年4月29日登録商標）が発売されました。

オセロという名前は、シェイクスピアの戯曲『オセロ』で、登場人物の敵味方がめまぐるしく寝返るところに由来しているそうです。盤面が緑色なのも、戦いの舞台が、イギリスの平原という事をイメージして作られたそうです。（株式会社メガハウス公式HP 参照）

世界中で愛されるボードゲームが日本発祥というのは、なんだかとても誇らしい気持ちになりますね。修学館では、司書手作りのコマと盤でオセロ対決をしていますよ！まだ参加していない人は、ぜひ修学館で本を借りて、オセロ対決を楽しみましょう。

オセロ対決

もりあがってるよ～
ただいま第4戦目中！

